

## 河川砂防技術開発公募(河川技術・流域管理分野 指定型課題)研究一覧

※令和2年度より新設

年度	課題名	研究テーマ名	期間	所属機関	研究代表者
R7	遊水地の設計を効率化・高度化する技術の開発	無動力自動開閉ゲートを活用した既存越流堤の可動堰化技術	R7~R8	株式会社 建設技術研究所	加谷 一人
		無動力式起伏ゲートを用いた可動堰に関する研究開発	R7~R8	旭イノベックス株式会社	横田 歩
R6	河道設計における洪水解析、河床変動解析を高度化する技術の開発	河床変動解析における不確実性評価と現場への適用に関する技術検討	R6~R7	北海道大学	岩崎 理樹
		洪水流・河床変動解析法の高精度化・高速化と各種解析法の適用性の体系的整理とその信頼度の定量評価法	R6~R7	広島大学	内田 龍彦
		河道設計の高度化に資する効率性の高い三次元河川流・河床変動解析法の開発	R6~R7	東京理科大学	柏田 仁
		流水型ダムを設置による上・下流河道における洪水時の砂の挙動、瀬淵構造の変化等を高精度に予測する手法の開発	R6~R7	中央大学	竹村 吉晴
R5	越水時における河川堤防裏法部の侵食量を評価する技術の開発	越流侵食に対する河川堤防性能評価手法の高度化に関する技術研究開発	R5~R6	京都大学	音田 慎一郎
		堤防越水時に表面被覆型対策工周辺で生じる激しい擾乱を伴う流れとそれによる堤体裏法侵食の評価手法の開発	R5~R6	中央大学	後藤 岳久
R4	流出抑制対策の治水効果を推定できる流出解析・洪水解析技術に関する研究開発	流域治水検討用一体型モデルの開発と実用化に関する研究	R4~R5	滋賀県立大学	瀧 健太郎
		水田圃場施設を利用した新しい洪水導水方法の提案と流域治水実証実験	R4~R5	中央大学	手計 太一
R3	越水に対する河川堤防の強化構造の検討に資する評価技術の開発	一部自立型構造を有する河川堤防の増水～越水～引水時性能評価に関する技術研究開発	R3~R4	東京工業大学	高橋 章浩
		越流侵食に対する河川堤防のロバスト設計に関する技術研究開発	R3~R4	京都大学	肥後 陽介
		越水侵食に対するPC矢板を用いた一部自立型による堤防補強の有効性評価技術の研究	R3~R4	株式会社 富士ピー・エス	正木 守
R2	堤防や河岸の侵食による被災リスクの評価技術の開発 ～河道形状の設計手法や河道変化予測の高度化～	大量アンサンブル降雨一流出計算データを利用した流路変動解析による河道被災リスクの定量評価手法の構築	R2~R3	北海道大学	岩崎 理樹
		石礫河川における三次元局所流と非平衡流砂運動を考慮した河岸・堤防の侵食解析手法の開発	R2~R3	中央大学	竹村 吉晴
		一連河道区間と局所的弱点箇所の2重スケール評価による低水護岸・高水敷系侵食被災リスク評価技術の開発	R2~R3	名古屋大学	戸田 祐嗣

## 河川砂防技術開発公募(河川技術・流域管理分野 提案型課題:流域課題)研究一覧

※令和2年度より新設

年度	研究テーマ名	期間	所属機関	研究代表者
R7	豊川下流域における多様な利活用機能を有した親水空間の効果と検証	R7~R8	豊橋技術科学大学	豊田 将也
R6	低平田園地域における流域治水のための田んぼダムの冷却・貯留効果評価	R6~R7	筑波大学	大塚 浩司
	沖積平野河川における超過洪水に対する流域治水の適応策と治水効果の検討	R6~R7	前橋工科大学	平川 隆一
R5	早期避難ができる住民への行動変容と避難所における住民へのサポートができる人材育成のためのXR教育プログラム構築	R5~R6	佐賀大学	大坪美由紀
R4	避難促進と流域治水のための防災Go!の開発	R4~R5	福岡工業大学	上杉 昌也
	山間狭窄部における超過洪水に対する人的被害最小化のための方策に関する研究	R4~R5	九州大学	田井 明
	伊勢湾台風に学ぶ被災後の復旧過程のデジタル復元と広域・長期浸水被害からの早期復旧戦略	R4~R5	名古屋大学	田代 喬
	多機能インフラによる流域治水対策の推進に向けた研究	R4~R5	愛媛大学	森脇 亮
R3	小丸川水系渡川ダムの堆積土砂を有効利用した流域土砂生産抑制による新しい総合土砂管理の検討	R3~R4	宮崎大学	入江 光輝
	2019年千曲川洪水氾濫が企業にもたらした直接的・間接的経済被害の推計および過去の水害との比較分析	R3~R4	名古屋工業大学	中居 楓子
R2	中小河川の水害リスク低減策と地域水防災意識向上に関する研究	R2~R3	東京大学	洪尾 欣弘
	居住誘導浸水想定区域での市街地評価技術の確立とリスク対策事業の導入に関する研究	R2~R3	長岡技術科学大学	松川 寿也

# 河川砂防技術開発公募(河川技術・流域管理分野 提案型課題:地域課題)研究一覧

※令和2年度より新設

年度	研究テーマ名	期間	所属機関	研究代表者
R7	河道の質的整備と流砂量の確率密度関数に関する研究	R7～R8 (注)	広島大学大学院	井上 卓也
	防災GOのAR機能による防災教育の向上	R7～R8 (注)	福岡工業大学	上杉 昌也
R6	ダム堆砂中のシルト・粘土の簡便な回収方法と利用技術の開発	R6～R7 (注)	群馬大学	伊藤 司
	急流河川に適した流域治水オプションと水害リスク情報の開発	R6～R7 (注)	富山県立大学	呉 修一
	六角川高水敷のヨシ原と湛水池の特性を考慮した準三次元洪水流解析による河道の治水・環境機能の評価	R6～R7	中央大学	後藤 勝洋
	環境に配慮した流域治水のための水生態解析とモデル開発	R6～R7 (注)	宮崎大学	糠澤 桂
	安倍川における河岸侵食発生条件・機構の解明と発生リスク対応策の提案	R6～R7 (注)	名城大学	溝口 敦子
R5	流域へのインパクトに基づく気候変動リスク情報創出に向けた技術開発	R5～R6 (注)	弘前大学	岡崎 淳史
	富山県急流河川における降雨特性変化を考慮した流路変動・河岸被災リスクの検討	R5～R6 (注)	富山県立大学	久加 朋子
	降雨流出氾濫解析と簡易型河川監視カメラ画像解析を用いたリアルタイム浸水予測の高度化	R5～R6	東北大学	橋本 雅和
R4	気候変動後の流量発生分布を考慮した砂州の波高増大・固定化リスクの評価手法の提案	R4～R5 (注)	広島大学	井上 卓也
	掃流砂と浮遊砂の一体的扱いに基づく新たな浮遊砂の解析法の開発とそれを用いた安定な船底形河道の設計技術に関する研究	R4～R5	中央大学	後藤 岳久
	分布型音響センシング技術を活用した河川堤防の変状検知に関する技術研究開発	R4～R5 (注)	日本電気株式会社	依田 幸英
R3	ゴミと土砂の流出特性の同時解析:CCTV映像と既存観測体制の活用方策の検討	R3～R4	大阪大学	入江 政安
	北海道東部の堤防における気候変動を考慮した設計降雨の考え方の提案	R3～R4 (注)	北見工業大学	川尻 峻三
	ローカル観測の地域防災への浸透過程に関する分析	R3～R4	香川大学	竹之内 健介
R2	大野川下流域の赤潮発生予測・制御に関する技術開発	R2～R3	西日本工業大学	高見 徹
	中小河川の洪水流出に影響を及ぼす将来の洪水規模と頻度の増加に適応した洪水処理施設の操作と河川情報の創生	R2～R3	大阪工業大学	山口 行一
	大規模気候データを活用したこれからの河川計画策定に向けた技術開発	R2～R3 (注)	東京大学	渡部 哲史

(注) 研究奨励制度適用の希望有